

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民の方々ともっと深いつながりが必要である。	地域の方々が気楽に出入りできる施設を目指す。(利用者のあるがままの姿をボランティアに受け入れてもらえる体制づくり。)	① 福祉関係団体と連携を図り、地域密着サービスの事業説明の機会を確保する。 ② 地域密着型サービス事業所として地域に寄与するため、地区老人クラブ等の求めに応じ介護講習等の機会を提供する。 ③ ボランティア(地区老人クラブ会員等)を講師とする各種講座の開催を検討する。	12 か月
2	28	入居者のニーズに対応できる柔軟なサービスの多機能化を進める。	入居者の身体状態に応じた日常生活が送れ、その人らしい生活のできる柔軟なサービス体制づくり	① 前年度に開始した、入居者による幼稚園の草引きボランティアを継続実施する。(4月～10月) ② 公共施設(バタールゴルフ場、図書館、温泉施設等)の利用を促進する。	12 か月
3					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。  
注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

